

人文（人類学・食文化）ご担当者様

2020年1月10日 発売予定

『ブルーノ・ラトゥールの取説』（月曜社）で構想した方法論を「家庭料理」という具体的な事例に即して展開し、〈暮らしのデザイン〉や〈料理〉について問う！

「私、結婚したら毎日違う料理を作るんだ！」知人が発したこの言葉に誘われて文化人類学者は「家庭料理」というフィールドにおもむく。小林カツ代や栗原はるみら料理研究家の著作からレシピ投稿サービス「クックパッド」まで、数々のレシピをもとに調理と分析を繰り返し、生活と学問を往復しながら家庭料理の変遷を追う。心を込めた手作りが大事なのか、手軽なアイデア料理が素晴らしいのか、市販の合わせ調味料は「我が家の味」を壊すのか、料理のデータベース化は何をもたらすのか？ 様々な問いと倫理が齟齬を伴いながら結びつく。日々の料理を作り食べること、それは暮らしという足下から私たち自身を考えることにつながっている。

【著者略歴】

久保明教（文化人類学者）

1978年生。一橋大学社会学研究科准教授。主な著書に『ブルーノ・ラトゥールの取説——アクターネットワーク論から存在様態探究へ』（月曜社、2019）、『機械カニバリズム——人間なきあとの人類学へ』（講談社選書メチエ、2018）、『ロボットの人類学——二〇世紀日本の機械と人間』（世界思想社、2015）など。

KUBO Akihiro

久保明教

「家庭料理」という戦場

暮らしはデザインできるか？



コトニ社

「家庭料理」という戦場

暮らしはデザインできるか？

【目次】

はじめに——毎日違う料理を作るんだ！

第一章 わがままなワンタンとハッシュドブラウンポテト

暮らし、見えない足下／美味しい時短／消費社会下の家庭料理／ゆとりの天才／静かな戦い

実食！ 小林カツ代×栗原はるみレシピ対決五番勝負（前半戦）

第1戦 昼の副菜「キューカンバーサラダ×自家製ピクルスマックス」

第2戦 昼の主菜「じゃが芋スバゲティ×スバゲティミートソース」

第二章 カレーライスでもいい。ただしそれはインスタントではない

手作りと簡易化／村の味／毎日のごちそう／ねじれた継承／贈与の拠点

実食！ 小林カツ代×栗原はるみレシピ対決五番勝負（後半戦）

第3戦 夜の副菜「大根たらこ煮×じゃがいものニョッキ、レンジトマトソース」

第4戦 夜の主菜「食べるとロールキャベツ×煮込みれんこんバーグ」

第三章 なぜガーリックはにんにくではないのか？

正しい料理／脱構築の末路／欲求を知り、満たす／にんにくではダメなんです／「我が家の味」のデータベース／動物的消費の彼方／ホワイトキューブのもそもそメシ

実食！ 小林カツ代×栗原はるみレシピ対決五番勝負（最終戦）

第5戦 夜の汁物「なすとそうめんの汁×かぼちゃの冷たいスープ」
レシピ対決五番勝負を終えて

おわりに——暮らしはデザインできるか？

取扱取次：八木書店（トーハン・日販・楽天ブックスネットワーク他帳合からのご注文が可能。ご返品承ります）

■書名：「家庭料理」という戦場 ——暮らしはデザインできるか？ ■著者：久保明教 ■造本／頁数：四六判変型・並製／216ページ ■定価：本体2000円＋税 ■ISBN：978-4-910108-01-8	貴店名	ご注文数
	ご担当 様	冊



〒274-0824

千葉県船橋市前原東5-45-1-518

コトニ社 TEL：090-7518-8826

ご注文

FAX：043-330-4933